

～ 腎機能 ～

尿素窒素(BUN)

エネルギー源となるたんぱく質が分解される時にできる老廃物で、大部分が尿中に排泄されます。排泄量が減少すると、血液中の尿素窒素をうまく濾過することができないため増加します。

考えられる疾患・受診科

高値：急性・慢性腎炎、腎盂腎炎、腎硬化症、尿路結石、尿路の悪性腫瘍
低値：肝硬変、劇症肝炎
《内科》

クレアチニン(CRE)

尿素窒素(BUN)と同様に、老廃物の1つです。腎臓が正常に働いている時は尿中に排泄されますが、排泄量が減少すると、血液中に増加してきます。

考えられる疾患・受診科

高値：糸球体腎炎、腎不全、尿毒症、慢性腎炎、うっ血性心不全
低値：尿崩症、筋ジストロフィー
《内科》

eGFR

腎臓の働き具合を調べる検査です。血清クレアチニン値を年齢と性別で補正して算出します。

考えられる疾患・受診科

低下：腎不全、慢性腎臓病(CKD)
《腎臓内科》